

神奈川県民ホール 県域展開事業

神奈川近代文学館 特別展「佐藤春夫展 情あらば伝えてよ」連携事業

33のまちと、ひびきあう。

→33
KANAGAWA
33ACT Produced by
神奈川県民ホール

かながわ朗読紀行 ～佐藤春夫

新シリーズ「かながわ朗読紀行」の第1回。

ことば・声・音楽が織りなす至高の芸術体験。

神奈川を舞台に、日本が誇る朗読界の女王と

ギター界永遠のプリンスによる初共演。

みなさまにお贈りする佐藤春夫の世界。

白石加代子
(朗読)

SHIRASHI Kayoko

莊村清志
(ギター)

SHOMURA Kiyoshi ©良知寛洋也

●朗読

朗読：白石加代子

佐藤春夫：第二詩集

『我が一九二二年』より
さんま
「秋刀魚の歌」

ひら
：窓展く

ほか

●音楽

ギター：莊村清志

L.ブローウェル：11月のある日
ほか

●トーク

河野龍也（東京大学准教授、佐藤春夫展編集委員）

※約100分（休憩なし）予定

2026.11.17 (火) 14:00開演(13:30開場)

県立神奈川近代文学館 ホール

(東急東横線直通・みなとみらい線)「元町・中華街駅」下車6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分

全席指定(税込)：一般 4,000円 20歳未満・学生 3,000円 ※未就学児入場不可

※本券で、神奈川近代文学館 特別展「佐藤春夫展 情あらば伝えてよ」にも入場いただけます。

KAme(かながわメンバーズ)web先行発売：8月29日(土)／一般発売：9月20日(日)

●チケットかながわ 0570-015-415 (10:00～18:00) <https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/bungaku26>

[窓口] KAAAT神奈川芸術劇場(10:00～18:00)、神奈川県立音楽堂(13:00～17:00/月曜休)

●神奈川近代文学館ミュージアムショップ(窓口販売のみ)営業時間：9:30～17:00(営業日は展示室に準じる)※発売日初日は10:00～販売

◆文学館友の会会員料金：3,000円(文学館のみで販売) 先行発売：8月29日(土) 詳細は文学館(045-622-6666)へ

主催：神奈川県立県民ホール(指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団)

共催：県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会



神奈川ゆかりの文学者たちのことばを声と音楽にのせて。
建て替えに向けた休館中に県内33市町村での事業を展開する神奈川県民ホールが、神奈川近代文学館と協力して県内各地をめぐる新シリーズ「かながわ朗読紀行」が始まります。第1回は、10～11月に神奈川近代文学館で開催される特別展「佐藤春夫展 情あらば伝へてよ」に合わせ、佐藤春夫の代表作「秋刀魚の歌」を中心に、様々な詩・小説・書簡・エッセイを取りあげ、朗読とギター演奏による文学の旅をお届けします。

※本公演のチケットをお持ちの方は、下記の「佐藤春夫展」にもご入場いただけます。



白石加代子(朗読)
SHIRAI Shi Kayoko

1941年生まれ。早稲田小劇場所属時は、鈴木忠志氏演出「劇的なものをめぐってII」、「トロイアの女」などで世界80都市を巡演。退団後は、蜷川幸雄氏演出作品に多く出演し、映画やTVなどでも幅広く活躍。ライフワークとした「百物語」(演出・鴨下信一)は国内外で20年以上に渡り上演。2023年に演劇界初の日本芸術院会員となる。

河野龍也(トーク)
KONO Tatsuya

東京大学准教授、実践女子大学客員研究員。佐藤春夫を中心に、近代日本の文壇史とジャンル編成の歴史を研究している。また、文献実証とフィールドワークを組み合わせた研究手法や、書簡・草稿などの直筆資料の分析と保全に関心を持つ。編著に『知られざる佐藤春夫の軌跡』(武蔵野書院、2022)、『梶井基次郎「檸檬」を含む草稿群―瀬山の話―』(武蔵野書院、2019)、『佐藤春夫読本』(勉誠出版、2015)など。『佐藤春夫と大正日本の感性』(単著・鼎書房、2019)で、第28回やまなし文学賞受賞。



佐藤春夫
SATO Haruo

写真提供:新宮市立佐藤春夫記念館

文豪・佐藤春夫(1892～1964)は、明治から昭和にかけて、詩歌・小説・随筆など多岐にわたる分野で活躍しました。慶應義塾大学部在学中から詩歌や評論を発表し、24歳のとき、都会の喧騒を離れて緑豊かな神奈川県都筑郡中里村(現・横浜市青葉区)に約半年あまり暮らします。この体験をもとに書き上げた小説「田園の憂鬱」が高く評価され、作家としての地位を確立しました。その後、谷崎潤一郎夫人・千代との恋愛、失恋(いわゆる小田原事件)を経て、第一詩集『殉情詩集』をまとめます。第二詩集『我が一九二二年』に収められた「秋刀魚の歌」は、日本近代詩を代表する抒情詩として、現在も広く知られています。



荘村清志(ギター)
SHOMURA Kiyoshi

©Hiromichi NOZAWA

日本を代表するクラシックギター奏者。1969年のデビュー以来、第一線で活躍を続ける。1974年にはNHK教育テレビ「ギターをひこう」の講師を務め、全国的な人気を獲得。現代作品の委嘱・初演にも積極的に取り組み、とりわけ武満徹とは公私にわたり深い交流を築いた。2024年にデビュー55周年を迎えた現在も、円熟した音色と深い音楽性で聴衆を魅了し続けている。

〈チケット取扱い〉

- チケットかながわ 0570-015-415 (10:00～18:00) <https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/bungaku26>
[窓口] KAAAT神奈川芸術劇場(10:00～18:00)、神奈川県立音楽堂(13:00～17:00/月曜日)
- 神奈川近代文学館ミュージアムショップ(窓口販売のみ) 営業時間:9:30～17:00
(営業日は展示室に準じる) ※発売日初日は10:00～販売

お問い合わせ:(公財)神奈川芸術文化財団 県域展開事業課 045-662-5901 (代表) 平日10:00-17:00
※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により内容、出演者等が変更になる場合がございます。※上演中にご入場いただけません。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。※車椅子・ぼじょ犬同伴でご来場の方は、事前に「チケットかながわ」までお問い合わせ・ご予約ください。

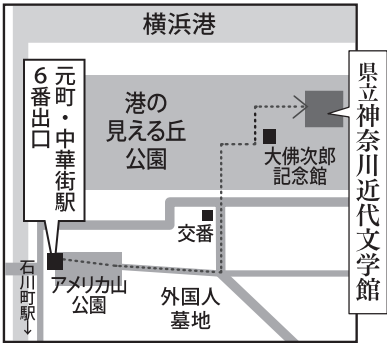
託児サービス 料金:2,000円(税込)
予約期間:11/10(火)までに要事前予約
お問い合わせ・申込先:
株式会社明日香 電話 0120-165-115
(土日祝日を除く10:00～17:00)

アクセシビリティ(鑑賞サポート)あり
詳しくは HP まで

神奈川県民ホールは休館中においても、県内33市町村で多彩な芸術文化を届ける活動
《KANAGAWA 33 ACT》を展開し、地域に身近な感動を広げています



かながわメンバーズ(KAmE)になると、人気のチケットの先行予約や、公演情報、チケット販売情報など、お得な情報をメールマガジンでお届けします。



神奈川県横浜市中区山手町110
ACCESS

※駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

〈東急東横線直通・みなとみらい線〉
元町・中華街駅下車 6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分

〈バス〉
神奈川中央交通バス⑩系:桜木町駅～保土ヶ谷駅
横浜市営バス②系:桜木町駅～山手駅
観光スポット周遊バス「あかいつ」
いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
〈JR根岸線〉
石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分



[特別展]
佐藤春夫展 情あらば伝へてよ

会期:2026年10月3日(土)～11月29日(日) ※月曜休館(10月12日、11月23日は開館)
会場:県立神奈川近代文学館 第2、3展示室
〒231-0862横浜市中区山手町110 港の見える丘公園内

編集委員:河野龍也(東京大学准教授)
観覧料:一般800円(600円)、65歳以上・20歳未満及び学生400円(300円)
高校生100円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金
主催:県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会

